

令和4年度 立川市立第一小学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標		○自分で考え行動する子	○心豊かで思いやりのある子	○体をきたえ元気な子
		<p>児童に育成を目指す資質・能力</p> <p>○基礎学力を基盤に、諸能力を活用し、協働して問題解決に努める力 ○他者を思いやった行動ができ、すすんで共助・共生に努める力 ○自他の健康安全に配慮でき、すすんで心身の健康の保持増進に努める力</p>		
		<p>複数の教科や学年全体に共通する取組</p> <p>・校内研究と連動した主体的・対話的で深い学びの実現に向け、各教科等の見方・考え方を生かした授業作りと問題解決的な学習を通じた学力（思考力、判断力、表現力等）の育成 ・一人1台タブレットPCの効果的活用を含めた個別最適な学びと協働的な学びの充実及び児童の学習意欲の向上</p>		
教科	教科で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組（学習活動など）		
国語	<p>○相手の話の大切なことや中心部分などに気を付けて正しく内容を聞き取るとともに、自分と相手の話を関連付けながら話し合い、考えをひろげたり深めたりすることができるようになる。</p> <p>○目的意識（誰に、何のために）をもって、自分が伝えたいことが相手に伝わるように学年の実態に応じた工夫を取り入れながら文章を書くことができるようになる。</p> <p>○目的意識をもち、文章中の叙述から必要な事柄を探しながら読み取るとともに、読み取った事柄について自分の考えをもつことができるようになる。</p> <p>○語彙を豊かにするとともに、既習の文字（漢字を含む）をあらゆる生活場面ですすんで使うことができるようになる。</p>	<p>・常に目的意識をもって取り組み、事前に必要な情報を確認したり、大事な言葉をメモしたりしながら話し合うようにさせる。必要に応じて、モデルとなる話し合いの方法を提示し、理想とする話し合いのイメージを共有する。</p> <p>・「誰に」「どのような目的で」文章を書くのか教師が声掛けし、一人一人が明確に意識をもって書けるようにする。また、モデルとなる文章を提示し、文章全体の構造や表現の工夫について確認する。</p> <p>・最初の段階で、文章の構造を確認するとともに、物語や説明文をどのような目的で読むのかを、単元の前半で児童自身に見通しをもたせ、そのために必要な手がかりとなる叙述（言ったこと・行動・様子・気持ちなど）を共有する。</p> <p>・ひらがなや新出漢字練習時、意味や関連する語句などを踏まえた練習を継続する。読書量を増やし、様々な語彙や漢字に触れる環境作りに努める。</p>		
社会	<p>○社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したり、考えたことを適切に表現したりすることができるようになる。</p> <p>○社会的事象について、主体的に学習問題を解決し、社会生活に活かそうとすることができるようになる。</p>	<p>・生活に関連付けながら資料を読み取ったり、調べたり考えたりできるように、柴崎図書館やタブレットPCなどを活用し、情報の収集やまとめなどが行えるように指導計画の工夫をする。</p> <p>・分かったことや考えたことを発表し合い、クラス全体で共有する。そこから新たな気付きを付け足したり修正したりするように指導する。</p> <p>・効果的にまとめている児童のノートや教師のまとめを例示し、まとめ方のイメージをもたせる。</p> <p>・自分の生活と関連付けて考えられるような振り返りをし、学習内容を深められるようにする。</p>		
算数	<p>○考えを順序立てて説明したり、どのような解き方をしたか、わかりやすく説明したりできるようになる。</p> <p>○速く解くことばかり意識してしまい、ケアレスミスをする傾向が見られるため、確実に解くことができるようになる。</p> <p>○問題に対して自分の考えをもつことができるようになっていく。ただし、発表する児童に限られているため、自分の考えを全体で共有できるようになる。</p>	<p>・文章問題を解く際には、どの言葉に着目することで正しく立式できるのかを考えさせ、線を引かせ確かめるように指導する。また、具体物や図、絵、数直線などを用いて、全員が正しく立式できるように指導方法を工夫する。</p> <p>・問題を解き終わった際、答えが聞かれていることに答えているか、単位の間違いないか確かめるよう指導する。また、途中計算や筆算を丁寧に書き、ミスが減るように指導する。個別最適な学びの充実に向け、電子ドリルを効果的に活用する。</p> <p>・考えをノートに文字や言葉、数字で具体的に書き、ICT機器も活用しながら考えを共有できる時間を設定し、意図的に表現する学習を取り入れる。</p>		
理科	<p>○実験の結果と結論（考察）を区別して考えることに課題が見られる。また、結びつけて考えることに課題があるため、実験や観察の流れをつかむことができるようになる。</p> <p>○問題解決に向けて、どのような実験を行うのが妥当か考えられるようになる。</p>	<p>・「問題」、「予想と根拠」、「実験と結果」、「結果から分かったこと（結論）」といった1単位時間の学習展開を定着させるために、ノートの作り方を示して思考の可視化をしたり、実験や観察の流れを明確化したりする。</p> <p>・実験や観察の前に、学習問題を確かめたり、結果の見通しをもって小集団で方法を検討したりすることで、実験や観察の目的や知りたいことを明確にして取り組めるようにする。</p> <p>・結果からどのようなことが分かるのかを小集団で交流し、学習問題と結びつけながら、「結果」から「結論」へと考えを深められるようにする。</p>		
生活	<p>○自然の変化や季節の様子など、気付いたことをくわしく、カードに絵や文で表すことができるようになる。</p> <p>○児童自らの発見や気付きがたくさんできるようになる。</p> <p>○季節や時期に合った動植物を、よりたくさん知ることができるようになる。</p>	<p>・観察をするときには、毎時間、色や形など観察の観点や観察のポイント（におい、手触り、色、大きさ、形など）を繰り返し確認する。また、カードに書くことを苦手としている児童には観察の視点を絞ったり、できている児童のカードを共有したりして個別に支援を行う。</p> <p>・観察するポイントを具体的に伝える。自然の変化や季節の様子について気付いたことを書くことができている児童のカードを紹介し、ICT機器を活用し書き方を共有していく。</p> <p>・季節を感じられるものを意識的に取り上げて紹介したり、季節や時期に見られるものを実物や画像などを積極的に活用したりしていく。</p>		
音楽	<p>○楽しんで活動を行い、リズム感や歌唱、器楽演奏といった基本的な技能を身に付ける。</p> <p>○自分の思いや意図をもって、互いの演奏を聴き合いながらよりよい表現ができるようになる。</p>	<p>・リズム感を定着させるために、活動やリズムを言葉に置き換えて覚えるようにする。</p> <p>・自分の思いにあった表現をするために、演奏範囲を区切るなどして明確化して取り組ませる。</p> <p>・ICT機器を活用して、音符の仕組みやリズムなどを理解させるとともに、演奏している動画などを活用し、良さや苦手なところを確認して技能の向上を図る。</p>		
図画工作	<p>○材料や用具の使い方を身に付け、自分の表したいことが表せるようになる。</p> <p>○自分の表したいことを見付けたり、表したりすることができるようになる。</p> <p>○表現をしながら自分の思いを深めたり、さらに工夫して表すために材料に働きかけたりすることができるようになる。</p>	<p>・既習事項を生かしながら、自分の表したいことが表現できるように用具や材料を適切に選択できるように指導する。</p> <p>・鑑賞と表現の一体化を目指し、作品などからそのよさや美しさなどを感じ取ったり考えたりしながら、自分の見方や感じ方を深め、表現の幅を広げていくように指導する。</p> <p>・図工の授業内での活動にとどまらず、様々な場面において、形や色などと豊かに関わる資質・能力を働かせることができるように、身の回りのことにも目を向けさせ、造形的な見方や感じ方を深められるようにする。</p>		
家庭	<p>○実習ができない単元では、実感を伴った理解が難しいため、日常生活と結び付けて実践できるようにする。</p> <p>○学習した内容をさらに深め、多様な考えをうみ出せるようになる。</p>	<p>・児童の日常生活に身近な例を取り上げ、意欲的に考えられる問題設定をする。問題に対して多様な答えが生まれるよう、小集団での話し合いから、全体へ広げる。</p> <p>・衣食住は生活していく中で切り離せないものであり、普段の生活の中では、保護者が果たしている役割の大きさに気付かせる。</p> <p>・児童自ら家族のために協力しようとする心情が高まるよう指導していく。</p>		
体育	<p>○シャトルランや50m走などの「走」の力を高める。</p> <p>○技能面や体力面などで、体を動かす経験が十分でない児童がいるため、自身の課題を理解できるようにする。</p> <p>○各自のめあてをもって取り組んだり、体を使って表現したりすることができるようになる。</p> <p>○チームの話し合いで助言し合えるようになる。</p>	<p>・2学期の縄跳び旬間や3学期の持久走旬間では、縄跳びを使った運動や持久走を授業に取り入れて、持久力を高められるようにする。</p> <p>・運動の特性に注目させ、自身の課題がどこにあるのか考えさせたり、練習したりする取り組みを繰り返し行い、「体を動かす心地よさ」を味わえるように指導していく。</p> <p>・準備運動や単元を通して行う運動などで、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。また、運動をすることで健康につながり、安全面を考えられたりするように運動特性に合わせた指導を行う。</p> <p>・個人やグループで課題を見付け、その解決に向けた話し合いをしたり、練習したりできるように授業を行う。また、学年の実態に合わせた個別のルールを設定するなど、運動する楽しさを味わうことのできる工夫を行う。</p> <p>・運動が苦手な児童でも楽しめるルールを作ったり、補助的な場を設定したりして、「できた」を味わえるように指導していく。</p>		
外国語	<p>○自分の思いや考えを英語で伝えることを苦手とする傾向が見られるため、英語に親しむことができるようになる。</p> <p>○自分の考えや思いを積極的に英語で話したり、聞いたりすることができるようになる。</p> <p>○身近な英単語や表現を書くことに親しみ、なぞり書きや写し書きができるようになる。</p>	<p>・楽しみながら英語に親しむことができるよう、英語の歌やジェスチャークイズ等のアクティビティを多く取り入れる。</p> <p>・その単元で使う単語や表現を声に出して繰り返し練習したり、自分の思いや考えを伝えるときの伝え方をあらかじめ例示したりすることで、どの児童もアクティビティに参加できるようにする。</p> <p>・4線の上に正しくアルファベットが書けるように、実態に応じてなぞり書きや写し書きに取り組ませ、無理なく楽しみながら活動させる。</p>		